

介護施設に福祉士教室

ガネット、全国24カ所で展開

人材育成事業のガネット（東京・渋谷、藤田達也社長）は介護施設と連携し介護福祉士の資格を取ることができるよう教育する。携し介護福祉士を育てるサービスを始めた。介護施設内に教室を作り、専

門知識を持つ講師を派遣し介護福祉士の資格を取ることができるよう教育する。

ほか、施設側も不足する専門人材を効率的に育成できるようになる。

国家資格の介護福祉士は2016年度に制度が変わり、資格取得には実務研修が必修となる。従

来はホームヘルパー1、2級や介護職員基礎研修という課程だった。ガネ

ットでは制度の改定をにらみ全国の介護関連企業

42社と組んで全国に24カ所の学校を用意。同所で

介護を担当する従業員を中心に資格取得に向けた

授業を提供する。講師には全国各地の医

療機関で働く看護師や介護福祉士などの資格を持つベテランを派遣する。

例えば介護福祉士になるために必要な初任者研修

は1人あたり13万円、実務者研修は同19万円で提

供する。国のキャリアアップ助成金制度を使えば

費用の8〜9割は軽減できる。

現在介護施設における介護福祉士の割合は2割程度にとどまっていると

いう。給与など待遇も資格を取得すれば改善に

つながる。ガネットでは15年度に800人の受講

を想定しており、16年度には1500人に増や

す。提携企業も15年度中に80社、教室も50校まで

拡大する予定だ。